

- 1 主題名 内容項目名 思いやり，感謝 (内容項目番号 B-6)
(資料名「帰郷」 出典「私たちの道徳」)

2 主題設定の理由

(1) 価値について

内容項目6は「思いやりの心をもって人と接するとともに，家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し，進んでそれに応え，人間愛の精神を深めること」をねらいとする。

人間は様々な場面で助け合い，協力し合いながら生活している。他者からの思いやりのこもった行為を受け，有り難いと感じた時に感謝の心が自然に生まれる。家族をはじめ多くの人々の善意に支えられて今の自分があることへの感謝は，周りの人のために進んで貢献しようとする気持ちにつながるものである。

中学生の時期は，多くの人々が自分を支えていることに気づき，感謝の気持ちを持つことができる。しかし，周りとの関係で素直に感謝を伝えることが難しかったり，日常における家族などの言動をわずらわしく感じたりすることがある。

生徒は素直で気持ちよく自分の気持ちを表現することができる。学校生活においても 周囲に気を配って生活しており，落ち着いている。時に他を省みない，自己中心的な言動も見られるが，大きな問題に発展しないで過ぎている。

指導に当たっては，日頃何気なく過ごしている中に多くの方々の善意がこめられていることに気づかせたい。毎日当たり前に過ごして中に地域の多くの人々の思いやりがこめられており，その善意に支えられている。そのことに感謝の気持ちを持ち，自分のできることを見つめ，どのように応えていったらよいかを考えさせたい。

本資料は自分たちの住む地域を見つめ，家族をはじめ多くの人々の善意によって毎日の生活が成り立っていることを考えさせるのにふさわしい内容である。何気ない日常の有り難さを感じさせ，今の自分があることへの感謝から，自分はどのように生きていったらよいかを考えさせることをねらって，本主題を設定した。

(2) 生徒の実態について (22人)

中学生らしく素直で元気に気持ちの良い応対ができる生徒が多く，学級や学校のことを考えて前向きに取り組むことができる。自分の思いを単発で表現する生徒が全体的に多いが，自分の考えを整理して表現できる生徒も見られる。

本時に関わる事前調査の結果は以下の通りである。

- ① 学校生活は楽しいですか。 4とても楽しい11人， 3まあまあ9人
1つまらない1人
- ② 家庭生活は楽しいですか。 4とても楽しい12人， 3まあまあ7人
3あまり1人 1つまらない1人

- ③ みんなが住む白浜はどんな町ですか。

自然がたくさんある町(6人)，海がきれいな町(4人)，過ごしやすい町(3人)，観光の町，地域の仲が良い町，挨拶が多い町(各2人)等

- ④ 将来、白浜はどんな町になっていたら良いですか。
観光が盛んな町（6人）、活気のある町（5人）、きれいな町、人が増えた町、発達した町、このままでいい（各2人）等
- ・なぜですか
交通が不便だから（3人）、過疎化しているから（2人）、楽しくなるから、気持ちが良いから、がんばれるから、活気があふれるから、さびしいから（各1人）等
- ⑤ 登下校時に地域の人に挨拶をされました。
- ・あなたはどんな気持ちになりますか。
うれしい（14人）、挨拶をしたくなる（4人）、温かな気持ちになる、元気になる、今日もがんばろうと思う、何も思わない、えっと思う（各1人）
 - ・それはなぜですか。
自分も返したくなるから（7人）、気持ちが良いから（5人）、しっかり見てもらっているから（3人）、大きな声で挨拶してくれるから（2人）、親しみがこもっているから、認められていると思えるから、思いやりの行動だから（各1人）等
- ⑥ あなたの母親が病気で倒れたと連絡がありました。
- ・あなたはどんな気持ちになりますか。
心配（10人）、悲しい気持ち（8人）、不安（4人）、驚く（2人）等
 - ・それはなぜですか。
親だから（4人）、今まで育ててくれたから（3人）、大切な人だから、生活できなくなるから（各2人）等
 - ・連絡を受けたら、あなたは何をしますか。
すぐにかける（9人）、急いで病院に行く（8人）、病気の詳しい内容を聞く（4人）、人に連絡をする（3人）等
- ⑦ 思いやりの気持ちを持って人と接するとともに、周りの人に感謝の気持ちを持って接することについて、あなたの考えを書いてください。
思いやりのある行動をとれば返ってくる（5人）、とても良いことだと思う（4人）、助け合いだから、やさしい気持ちになれる、うれしい、大事だ（各2人）

学校生活と家庭生活について大部分の生徒が楽しいと答えている。自分たちの住む白浜はきれいな海が見られ自然豊かで過ごしやすく、地域の温かいつながりを感じている生徒が多い。将来は観光を中心に活気のある町となり、交通が発達して気持ちよく生活できる町になって欲しいと考えている。地域の人との挨拶はうれしく感じており、自分から挨拶したいという気持ちを持っている。地域の方から自分が見守られていると感じ、親しみを覚えている。

母親が病気で倒れたとの知らせを受けたことを仮定する場面調査では、心配になったり（10人）、悲しい気持ち（8人）になり、病院等にかけるかと答えている。思いやりや感謝についての記述では思いやりのある行動にはお返し（5人）があり、助け合う（2人）ことが必要だと考えている。とても良いこと（2人）で自分がやさしい気持ち（2人）になり、大事にしたい（2人）と答えている生徒も見られる。

以上のような実態から、故郷や母親に対する生徒の考えを大切にしながら、家族への思いと地域の人々の温かさを取り上げたい。生きている中で家族の支えがいかに大きいか、また、地域の多くの人々の善意で今の生活があるこ

とを振り返らせたい。日々の生活の中で見過ごされがちな家族や地域の温かさがあり、中学生の自分があることに感謝の念を持たせたい。その上で、家族をはじめお世話になっている多くの人々の思いに応えていくことの大切さが、生徒の心に伝わるように指導していきたい。

(3) 資料について

主人公の研一は母親が入院したとの知らせを受け、東京から故郷へと急ぐ。病院に着くと、幼い頃からお世話になった老夫婦が母親を見守っていた。翌日、研一は老夫婦や母親が経営する居酒屋の常連客の優しさに心を打たれた。母親に「東京で一緒に暮らそう」とうながすが、母親は町に残りたいと言う。老夫婦は遠慮がちに母親の面倒を見ると申し出る。研一はふるさとのぬくもりに触れ、町の人々の善意に感謝の気持ちを抱くようになるという資料である。

生徒が過ごす私たちの郷土も人情味が豊かで、日頃から小中学校に対する温かい協力と支援を惜しまない。当たり前前に繰り返されている人々の善意を振り返り、自分たちの生活が地域によって支えられていることに思いを寄せることで、現在の恵まれた環境への有り難さを実感するものと思う。本資料を通して、その感謝の気持ちを気づき、その気持ちを周りの人々に進んで伝えるために自分のできることを考え、行動しようとする気持ちを育てていきたい。

3 ねらい

研一が故郷で感じた気持ちを考えることを通して、家族や多くの人々の善意に支えられて日々の生活があることに感謝し、自分が進んでできることについて考え行動する態度を育てる。

4 展開

学習活動と主たる発問	予想される生徒の反応	時配	支援の手立て・留意点
1 自分たちが住む地域について話し合う。 ①みんなが住む白浜はどんな町ですか。 ②将来、白浜はどんな町になっていたらよいですか。	<ul style="list-style-type: none"> 海と灯台の町，観光地，漁業と農業，花の町等 自然豊かな町，観光が盛んな町，おいしい食べ物がある町。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが住む郷土について振り返る。 郷土に帰ることを「帰郷」ということを説明し，資料に入る雰囲気をつくる。
2 資料『帰郷』を読み，研一の気持ちを考えて話し合う。			<ul style="list-style-type: none"> 資料『帰郷』を読みながら，主人公の研一の気持ちの移り変わりを通して考えていくことを説明する。
東京から故郷の母のもとに帰った研一の気持ちを追いながら，自分の考えをまとめよう。			
① 故郷で倒れた母の元に電車で帰る研一はどんな気持ちだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> 母の容体がわからないので心配。 元気になって欲しいと願う気持ち。 重体だったらどうなるだろうと不安。 	7	<ul style="list-style-type: none"> 母の心配をする気持ちをつかませる。

<p>② 翌朝、老夫婦が子供の頃好きだったチャーハンを作って持って来てくれた。そのチャーハンを受け取った時、胸にどんな思いが流れたのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼い頃好きだったチャーハンをわざわざ作ってくれて嬉しい。 ・ チャーハンが好きと覚えていて感激した。 ・ 母の看病をしてくれただけでなく、自分にも気を遣ってくれた老夫婦の思いに驚いた。 ・ 老夫婦も疲れている中での心配りに感謝の気持ちを持った。 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老夫婦の温かい思いやりに驚き、自然と感謝の気持ちが湧き出てきて胸が熱くなったことを捉えさせる。
<p>③ 「東京で一緒に暮らそう」と誘われた母が「この町がいいんだよ」と断るのを見て、遠慮がちに老夫婦が面倒を見ると言った時、研一はどんなことを考えただろうか。その理由を含めて、プリントに書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ありがたいが、老夫婦の善意に甘えていいのだろうか。 ・ 老夫婦の申し出に戸惑っている。 ・ 母の気持ちもわかるが、申し訳ない。 ・ 母の面倒を見るのは自分の役目だから、母の気持ちを変えたい。 	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ プリントに自分の考えをまとめる。 ・ ①老夫婦の善意への感謝，②母の気持ちへの理解，③息子としての役割について考えをまとめる。
<p>④ 東京へ戻る電車の中で研一はどんなことを考えていただろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町の人々の気持ちに触れて温かい気持ちになった。 ・ 自分が育った町の良さに改めて気づいた。 ・ 友達も母親のことを心配してくれて、嬉しい。 	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 故郷の人々の優しさに触れ、自分が気付いていなかった善意に触れ、感謝の気持ちを抱いたことをつかませる。
<p>3 『帰郷』を学習して、あなたは日々の生活の中で地域の人々についてどのように考え、どのように接していきたいと思いましたか。プリントにまとめましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族や地域の人々に支えられて生活していることを忘れないようにしたい。 ・ 多くの人々の温かい気持ちに感謝して生活したい。 ・ いろいろな人に支えられているのだから、自分のできることをやるようにしたい。 	1 0	<ul style="list-style-type: none"> ・ プリント ◇家族や地域の人々の善意を思い起こし、感謝の気持ちを持つとともに自分のできることを見つめてまとめることができたか。
<p>4 自己評価の欄を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価をして、学習のまとめをする。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5段階で自己評価し理由を記入する。